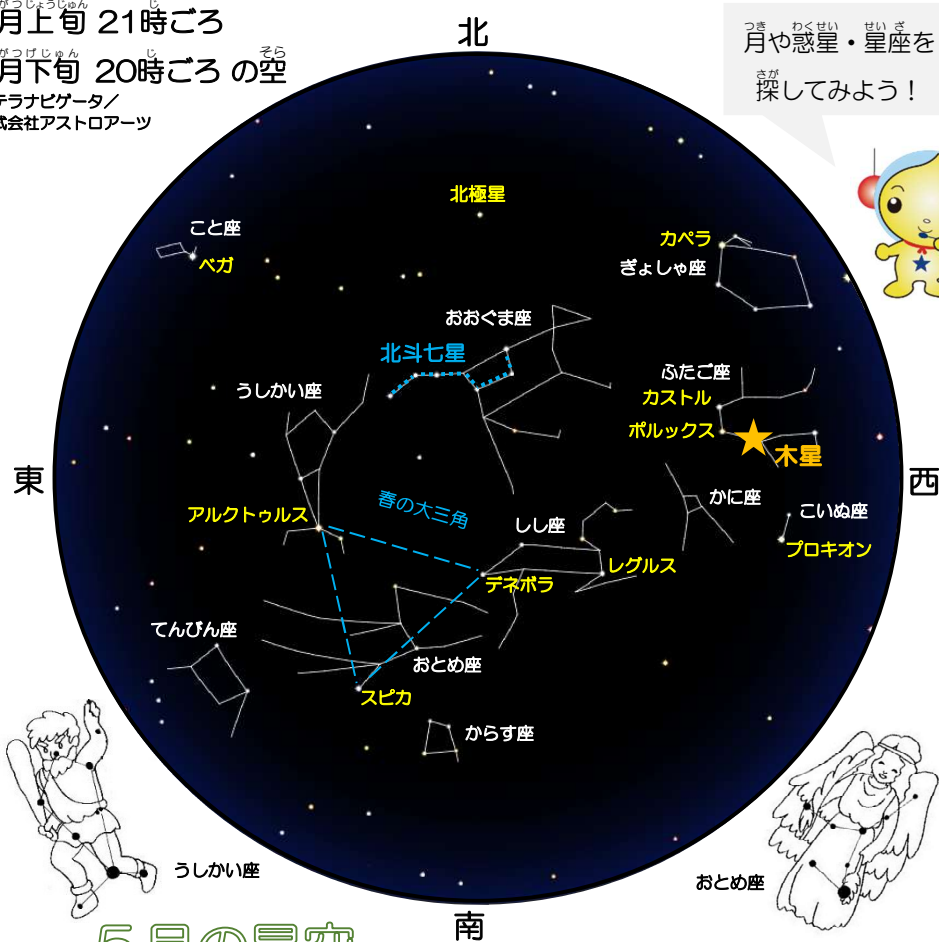


2026年 月刊 星空の散歩道 5月号

5月上旬 21時ごろ
5月下旬 20時ごろの空
ステラナビゲータ/
株式会社アストローツ



つぎ わくせい せいざ
月や惑星・星座を
さが 探してみよう!



5月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西の空に冬の星座が、南の空に春の星座が、東の空に夏の星座が見えています。

- < 西 > こいぬ座 (プロキオン)、ぎょしゃ座 (カペラ)
ふたご座 (カストル、ポルクス)、かに座
- < 南 > しし座 (レグルス、デネボラ)、おとめ座 (スピカ)、
うしかい座 (アルクトゥルス)、からす座
- < 東 > てんびん座
- < 北 > 北極星、おおぐま座、こと座 (ベガ)

☆天文トピック☆

5月 5日 立夏

暦の上では夏の始まり。

5月 20日 月と木星が大接近

日没後、西の空で月と木星がとても近づいて見えます。

☆月の形の変化☆

つき	かたち	へんか
5月 2日	満月	○
5月 10日	下弦	◐
5月 17日	新月	●
5月 23日	上弦	◑
5月 31日	満月	○

☆5月の惑星☆

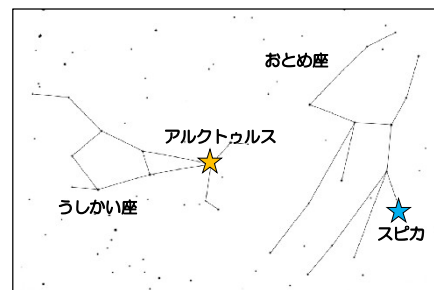
金星…日没後、西の空
木星…日没後、西の空

<天文コラム> 高速度星 アルクトゥルス

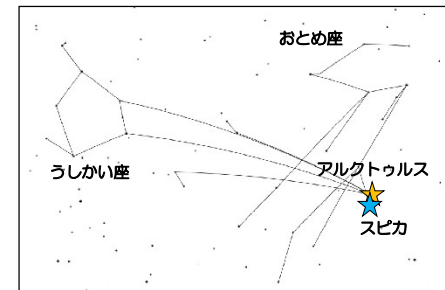
うしかい座のアルクトゥルスは、春の宵空にオレンジっぽい光で輝く1等星です。日本では、おとめ座の1等星スピカとともに「一對の星」という意味の「春の夫婦星」という呼び名で親しまれてきました。

恒星は天球上での位置が変わらず、星座の形も変わらないように見えます。しかし実際には、ほんの少しずつ、地球から見た見かけの位置が変化しています。この天球上での位置の変化を「固有運動」といいます。多くの恒星の固有運動はごくわずかであるため、1000年程度では星座の形が変わるほどの位置変化にはなりません。

その中でアルクトゥルスは、固有運動が特に大きい星として知られています。約1,800年でおおよそ1度(満月2つ分)、スピカの方へ移動しています。そのため、約5万3千年後には、おとめ座の領域内で本当に「夫婦星」といえるほど、すぐ近くに並んで輝くことになります。



現在のアルクトゥルスとスピカ



約53,000年後のアルクトゥルスとスピカ

伊丹市立こども文化科学館 発行日 2026年4月20日

〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36 TEL: (072) 784-1222

